

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 7 年 5 月 5 日
② 法人・団体名	特定非営利活動法人セイブアライフ		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	宮城県刈田郡蔵王町		
③ 責任者氏名	小野恵	(役職名等)	代表理事
④ 担当者氏名	加藤雪彦	(役職名等)	副代表理事

【奨学活動の概要】					
⑤ 助成交付決定番号	R06-17	⑥ 助成金額	8 8 万円	⑧申請カテゴリー	DS
⑨奨学活動名	児童養護施設の子どもに寄り添い・学習支援一フェースタートのために				
⑩主な実施場所名・及びその住所	仙台天使園：仙台市太白区茂庭台 4 丁目 1-30 鶴岡思恩園：山形県鶴岡市馬町批把川原 2 3				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

年間を通じての支援となります。

- 1, 中学生の進路希望が叶うように学習支援、中三 5 人。高校受験勉強補足。不登校女兒の未習補填。
→第一希望に 5 名合格。うち公立校 2 名。私立は食物デザイン 1。普通進学科 2。
- 2, 基礎学力定着支援、中 2 女兒。高 1 女兒 2 名。支援学級中 1 男児得意分野（数学）と国語の補填学習。
- 3, 高校生の不登校児 3 名に未習補足、進路相談等。→再試対策重点支援例：週に 6 日×3 時間等。
- 4, 特別な才能が見える児童の、才能確認とバランス支援。才能の光と影の部分に補填協力。
→高三男児（中学より定理・公式開発。数学だけ中学高校で学年 1・2 番。他は苦手）については、東北大学数学科大学院生の数学的思考伸長や職業相談の支援。
→小 2 男児（幼稚園で二けたの掛け算ができた）には、飛び級の算数や国語などバランス発達支援。高専 5 年女学生担当。ほかに、小 5 男児（宿題は学校で済ませ、持ち帰らず）には、抜けた部分の補填と、家庭（ホーム）学習の振り返り習慣支援。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	1 2 5	2	2 5 0	天使園 7 人、鶴岡 1 人、中三生 5 名 1 1 0 回
高校生等	5 5	2	1 1 0	天使園 6 人
大学生等	0			
学習支援員等	0			
その他	1 0	2	2 0	ボランティア研修会 1 1 月うち学生 VO 1 0
合 計			380	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：児童養護施設の子どもに寄り添い・学習支援

フェアスタートのために

法人・団体名：特定非営利活動法人セイブアライフ

作成者 氏名：加藤雪彦

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

☆親と暮らせない期間・引き離しの期間に受けた発達上の課題を、側面支援して、進学・就職の際に不利益を軽減し、自立を助ける。尊重された経験により、人と社会への信頼と自己肯定感の回復。

①中学生の進路の希望実現を目指す。中 3 生の受験に、塾に通えない（成育歴、保護期間等）児童の学習支援。基礎的学力の補填や、解くべき問題の選択と解き方の支援。個々に応じた勉強内容の工夫。

→ 5 名のうち全員が第一希望に合格。

②通常学習の遅れの支援。中学生 2（支援学級 1），高校生 3。不登校気味児童中三女兒 1，高校男子 2 の未習部分の学習や聞き役支援。再試等の緊急重点学習支援、進級支援。

③新しい教育観・進路の試み。特別な才能を発揮する子の、能力伸長と発達上の補填、能力を生かした職業の紹介や開拓。

→ 数学的な能力や芸術的才能は、生かされることなく、発達上の生活スキルの問題から、作業所や単純労働の就職も多かった。施設側も手が回らず、能力を生かしながらできる仕事を調査した。

例えば、東北大学理学部数学科研究室に相談し協力を得て、院生派遣による特殊能力と対人スキルの向上をはかっている。高校を卒業し 1 年間の能力開発機関に進み、支援継続中（25 年）

2. 実施した奨学活動の詳細

☆活動内容

分野	参加者と延べ	内容
中三受験進路	男子 3 女子 2 1 1 0 回	2 時間個別、各施設に訪問。 志望校に合わせた、科目対策。目標値設定・補習。
基礎力補完 長欠者補填学習	中学 2 人、高校 3 人 中学 1、高校 2 計 5 2 回	2 時間個別。通常学習の補完、定期試験対策。 未習部分の学習。赤点対策、再試重点補習、進路相談。
特別才能支援 バランス発達	小学生 2 高校生 1 1 8 回	個別 2 時間。特別能力の伸長。発達のバランス補完。 ボランティアの自作教材多い。

25 年度ニュースレターをご覧ください。

☆子供の学習希望は、毎年各施設に呼びかけて把握、希望内容やボランティアの適性をすり合わせます。

☆ボランティアの呼びかけは、ホームページから単独で申し込みが有ります。

また、学徒仙台として、各大学のキャリア支援室とボランティア支援室に学内掲示を依頼し、多くの担当者の応援をいただいております。大学生が社会の 이슈 に触れて、多角的視点を持ち市民としての行動・成熟を願っております。

依頼先：宮教大、東北大、宮城学院女子大、仙台白百合女子大、東北福祉大、東北公益文科大、国立鶴岡高専。ボランティアも、内外の児童養護に触れて学びの機会を確保、遠近法を学び充電しております。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

- ①児童養護は国連勧告に従い家庭的養護の方針であるが、予算・人員が従来のもので、職員の職場環境が悪化。以前より課題の多い児童が増えて、社会的認知・応援がさらに必要。
- ②外部支援者と施設基本学習方針のすり合わせは、時間的にも難しく、職員の負担が増える。
- ③多様な人材を母集団（教育学系大学に加え、東北大の例、医3，理1，工学1，法1，教育2。ITエンジニア女性1など）として、子どもに対応できる多様性・受容性がさらに大事となる。
- ④自立向上の意欲は、子どもによりばらつきがあり、無償ボランティアの志の継続・応援が課題。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

- ①夏の入所と、不登校気味の中三女子2名は、希望を強く持ち、努力して第一希望の公立高校に合格。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）

「コロナ禍の影響が薄れて、支援活動が本格的に再開されました。児童養護施設の子どもたちへ、仙台市では学生約20人と社会人数名の体制で学習支援を行い、大船渡市では寺子屋事業での支援が強化されました。海外支援では、カンボジアのHOC孤児院を訪問し、現地を調査して支援策を検討したそうです。私も宮城NPOプラザでの岩田さん報告会でお話をうかがいました。格差の拡大が進行する中、すべての子どもたちが公平なスタートを切れるよう、子どもも支援者も元気に楽しく活動を発展させてください！」

高橋 寛人 Hiroto TAKAHASHI 石巻専修大学 人間学部人間教育学科教授

セイブアライフ ニュースレター 2024年度活動報告 2025年5月号

皆様のお力をいただき2024年度も活動することができました。最も大変な子供の成長と自立支援の願いから。ボランティアの創意工夫と人柄により、子供たちから慕われ、共に成長していく実感を持つことができました。



☆児童養護施設の子どもに将来の夢形成支援に入っています。困窮など様々な理由で親元を離れています。就職後に失業や非正規などで貧困の連鎖に入らないよう寄り添い・学力支援をしています。人生のフェアスタートのために。月に2回ほど個別支援。内容は、個性豊かな学生さんが子供の実情に合わせて工夫します。優秀な学生スタッフの見識に支えられております。ひとり暮らしや遠方通学も多く意識が高いです。(宮教大当会第一期生)

24年4月から25年3月にかけて学生・社会人ボランティアにより、

①仙台市内児童養護施設の子供たちに寄り添い・学習支援。新たに仲間を迎え、学徒仙台は大学生18名・社会人6名の体制。天使園本園・さくらホーム・みずきH・桂Hの小学生7名、中学生6名、高校生6名。中三生5名は第一希望に進学。職員の御苦労の賜物。V04年生の学生さんたちは今春学業を終え故郷の小学校の先生4, 企業1, 学童支援1などになりました。「子どもを環境全体で見る目の大切さを学びました N、I」158回



仙台ばかりでなく、東京方面の戦災孤児も多勢入園して来た(昭和20年12月)



私の名の為にこの幼子を受ける者は私を受けるのである
(ルカ聖福音 9章 48節より)

②公益財団法人日本ライオンズの継続助成を受け、大船渡市の児童養護施設大洋学園の尽力で、小学生11名の寺子屋学習支援が本格化。ボランティアは退職校長先生と岩手復興 NGO の若者7名。延べ250回



大洋学園各ホームでは、ボランティアが子どもの企画するお楽しみ会にお呼ばれ。お菓子作りや進行も子供がやるよ！思いやりや小旅行など「自立生活スキル事業」を実践中。お孫さんみたい。いつも手作り問題ありがとう。

③10月から、**鶴岡思恩園の中学生と小学生の学習支援開始**。思恩園では、東北公益文科大学と鶴岡高専の学生さんが担当しました。公立高校合格。**延べ22回**。幼稚園で二けたかけ算できた子もいるよ。（高専女学生担当）

○仙台天使園と思恩園の中高生は、「財団法人樫の芽会」の助成により学ぶことができました。

☆外国孤児院への支援は、24年11月28日カンボジア HOC(ホープオブチルドレン)孤児院

副代表岩田亮子氏の仙台応援の会を、宮城 NPO プラザで実施。また、2025年2月に、当法人有志7名が現地



訪問し、カフェ10周年記念の祭礼に参列いたしました。

さいごは歓迎会の鍋の様子。

バタンバン市内の HOC café(自立経営と就労スキルの為の施設)は、賃貸の大ピンチを乗り越え、新装オープン。日本人デザイナーやフランス人カフェ経営者の協力を得て、子どもたちが市内のカフェを研究、自力改修。10年かけて岩田さんが分身のように育てた場所、中高・卒園生が交代でスタッフとして運営しています。カウンター真ん中が責任者のサオリーさん。☆7人に医学生もいたので、JICA が支援した郡立病院小児病棟も訪問、日本人看護師さんの案内を受けました。市外の HOC を訪問、子どもと交流。日本留学や医学部・先生を目指し、頑張っている女子高生が何人もいます。「勉強の機会を与えたい」園長ムニー様と岩田氏の願いです。ツーリストと外国人に好評のモーニング＝3\$。自家製ベーグル二個付き。盛りだくさんフルーツ(コーヒー別1ドル)たくさんのお客さんが常連に。お腹を壊さない安全な水と食事で好評。国は年に10%の経済成長。恩恵は全部に行き渡らず、格差拡大。コロナ禍観光業と中国系建設業の日雇い失業。保護すべき児童は増加！物価は、日本の5分の1から、3分の1に上昇。大人の収入は月3万円。中国による IT 社会化と借金。しかし、85%が農村人口。オーガニックな農産物の実力は偉大です。平均年齢26歳、子供たくさん、国力の元です。日本・・・

養護施設のこどもに寄り添い・学習支援ボランティアのお願い

児童養護施設のことご存知ですか。親が養育できない6歳から18歳までの子供たちが共同生活しています。親の病気のほかに、貧困などの様々な背景を持ちます。18歳になると卒園ですから、就職し自立となりますが、離職も多く非正規雇用となり貧困の連鎖に陥りやすくなります。一生通用する資格を知ることや、職業の夢をつくっていく手助けをお願いしたいのです。たとえば、少ない費用で看護師・保育士になるとか建築・整備士の学校に行くには、寮のある準公立の場合が多く、基礎学力も大切です。姉ちゃんや兄貴として、勉強のペースメーカーとして、心に寄り添う体験をしてもらえませんか。

- ① 活動場所：児童養護施設仙台天使園、桂ホーム、さくらホームなど
- ② 対象：小学生から中学生の男女で勉強したい希望の子。現在12人ほどいますよ
- ③ 期間：2025年5月から26年3月～随時、月に1回～2回。半年から1年程度
- ④ 担当：学生 VOLUNTEER 一人でひとりの子を継続担当。始まる前に顔合わせをしたいと思えます。曜日としては、担当のこどもたちと相談です。土曜日・日曜日の可能性。平日放課後も相談して可能です。また、急な変更も相談可能です。たくさんお話してくださいね。
- ⑤ 謝礼：謝金はございませんが、交通費のみ1回2500円です。教材費として子供一人 2,500 円を年に2回。使用はVOの自由。緊急支援は、考慮いたします。
- ⑥ その他：子供の教材費として、一人2500円2回(2教科想定)。学力やニーズにあわせて決めてやってください。子供のもつ教材や学生さんがおすすめのもの・手作り問題など。子供の様子から自由作成です。有料塾とは違います。小学生は遊びも入れてくださいね。
- ⑦ 連絡先：特定非営利活動法人セイブアライフの加藤までお願いします 090 7566 1453

*当法人は、内外の子供の人権を支援する活動をしています。鶴岡思恩園・大船渡大洋学園も支援中！カンボジアとナイロビの児童養護施設も応援

☆「カンボジアのNGO ホープオブチルドレン孤児院 副代表岩田亮子さん（元CA）バタンバン近郊」を毎年仙台にお呼びしています！報告会に参加しませんか。現在、宮教大3、宮城学院女子大5、東北福祉大5、東北大8、東北公益文科大学1、鶴岡高専2名の学生と社会人6名（仙台）が協力してくれています。

仲間に入りませんか!!

HPは「セイブアライフ」まで

